

Copyright 2014 AMERICHIP, INC., All Rights Reserved

今日は、弊社が企画販売するアメリカチップジャパン社を特集します。「5感を刺激するコミュニケーションツールでマーケティングソリューションを提供する」という崇高なコンセプトを掲げていますが、社長の谷謙 (Joe) は、ぼくのバンド仲間です。寡黙なベーシストが多弁なプレゼンテーションで、日々顧客開拓に動んでおります。是非ともよろしくお願いします (岩下信而)

<http://www.americhip.com/>

世界初

The world's first

- 1989 LEDを内蔵したプレミアムグッズや印刷物
- 1991 音の出るプリント媒体やプレミアムグッズ (歌うカード、サウンドパッケージング、雑誌等)
- 2008 カラオケ機能を内蔵した雑誌広告
- 2009 超薄型LCD内蔵プリント媒体 (雑誌広告、製本、DM、カード等)
- 2010 POPやパッケージングにセンサー、液晶画面、カメラ内蔵 (録画対応)
- 2012 ツイッター、電話能等を内蔵した印刷物
- 2013 Wi-Fi ホットスポット機能を内蔵した印刷物

アメリカチップは、1987年カリフォルニア州ロサンゼルスで設立以来、18カ国に支社を、米国、中国やメキシコなど数カ国にISO9001品質管理認証取得した工場を所有し、年間5千万点以上製造するグローバル企業です。社名の由来はアメリカ + マイクロチップ。アメリカチップジャパンは、世界各国で実績のあるマーケティングやプロモーションを日本市場のニーズに合わせて2011年11月に設立。ポップアップ広告や小物などで成功をおさめた後、マイクロチップをはじめとする電子部品や半導体等を内蔵して、視覚、聴覚など感性を刺激するマーケティングを生み出して、新技術の開発によって毎年新製品を世に送り出し、数多くの賞を受賞。小ロットはもとより、効率化を図って3Dプリンター用データの入稿も受け付けております。

Video in Print

～ビデオ・イン・プリント～

*ビデオアルバム集

ファッション店舗用ブランド紹介集。他にウエディングアルバム、企業紹介、製品やサービス紹介、招待状、タレントビデオ集等にも活用。

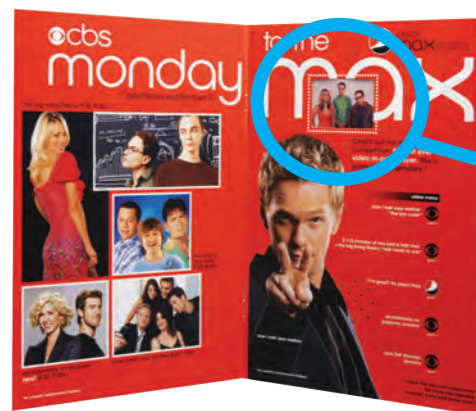


*ビデオ雑誌

液晶画面を内蔵した世界初の雑誌広告ページ、空前の認知度を獲得。

液晶画面!!

←気になる方は石川が編集した動画でチェック!!



*デジタルサイネージ

複数の超薄型液晶画面をアクリル体に内蔵し、各画面を同期した世界初のオブジェ型や、液晶画面を内蔵したジュエリーボックスなど、メモリアル映像が再生されるプレミアム品は大人気。



HOT ITEM!!

The others... "Lighted Sensor Bracelets" ~音や振動で光るブレスレット~



音 (または振動) に反応して光る LED ブレスレット。ライブに使用されるペンライトの進化版。これは、去年の "AD PREVIEW" にて AD のロゴ入りを作り皆様に付けていただきました!! 音に反応し、会場はイルミネーションのようでもきれいでした!! 他にもまだまだ沢山ありますが、紙面の都合上すべてお見せすることができません。興味のある方、ぜひ使ってみてみたい等々ありましたら ADproject までご連絡ください!! (編集部)

ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。

発行: 株式会社エーディープロジェクト 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-29 共同ビル www.adproject.co.jp

facebook 公式 facebook を check adproject がお届けするエンターテイメント情報を随時UP!!

皆様の いいね! をお待ちしております。

facebook adproject 検索

もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>



2014 2 vol.021

Legend



第2回 美意識②

ゼネラルプロデューサー 榎垣 俊幸

■もう一つの世界

私達の使命は、時代を創造する事です。それは、未来に続く「鮮度の良い価値」を提案する事にあります。これらの価値に共感を呼ぶのが右脳感性の直感であります。本来、人間は直感で生きる能力を持っていた動物です。この直感で共感を呼ばない論理はただの屁理屈なのです。プレゼンテーションの神髄はここにあります。長い理屈より、心が躍る短いコピーの方が共感を呼ぶのです。広告活動や販促活動はこの能力が必要とされます。それは、かつて言われた「AIDMA法則」の様なアナログ・プロセスの情報処理論理ではなく、直感と言う右脳活動の中に条件反射を組み立てると言うデジタル・プロセス処理でこそできる情報処理論理です。多くの研究は、このデジタル情報管理により今まで考えられなかった異情報の互換性を構築する事が出来る様になっているのです。新しいSTAP細胞の研究なども、過去の論理では有りえない事が発見されています。いや、むしろ発見と言った方が良いかもしれません。条件反射の様に自分の意思に関係なく想起してしまう記号論的活動でもあります。新旧二極化してゆく時代において、デジタル集積技術が片方の極を支えているのなら、私達クリエイターは、創造する力「直感」を磨かなければ成りません。従来の様な左脳の脳トレではなく、右脳の働く直感の感トレを大切にしてください。それには、ファッション、ミュージック、デリシャスなどあらゆるものに敏感に反応する五感づくりをしてください。そして、宗教、哲学などで心的領域を研磨し、予感と言う第六感力を養ってください。

■明日が始まる

全ては明日に向かって進んでいます。しかし、人間の思考や権威など、過去に向かっていくものも有ります。時空の中で生きる私達は、時の波に乗る事が大切です。それは自分の人生を俯瞰で見ると喜びでもあります。そして、自分の目指す世界との互換性ある社会や人間を見つける事が出来ます。昨日や歴史から学ぶ事は沢山あります。しかし、昨日は昨日です。変わりません。すでにフィクションです。昨日に学ぶ事が有ってもフィクションによる未来とは関わりない世界であると考えられる事が大切であり、未来を呼ぶパワーはそこから生まれます。それが、自立する事であり生命力です。未来を呼ぶ力を付ける事は、知的領域の神髄なのです。その為には、過去の万物にたよらず、明日が来る事を信じ、何物にも左右されない自分の時空を築くことです。少し変な位が良いのです。人を楽しくする、心から楽しくする、元気の源を贈る事が私達の使命だからです。

※先月号の訂正

先月号において「第4プロジェクト橋元」の写真下に添付いたしましたQRコードに誤りがありました。大変申し訳ありません。正しくは右記にてご覧くださいませ。



adproject-entertain newspaper

adtain

EDGE Positive mind

モデル: Kira P / Height:165cm B:83 W:64 H:93
事務所: ARTRICK ENTERTAINMENT (アートルック) <http://artrick.com>

adtainとは、adprojectとentertainが融合した「おもてなし」のトピックス誌

■目覚める喜び

皆さんは、「明日」目覚める喜びを知っていますか? 幼い頃、運動会や遠足の前の日、床に就く時、早く明日が来る事への喜びが有りましたね。そう、その喜びこそがポジティブ・マインドを創造する原動力であり、また、生命力なのです。年を取ると、明日、目覚めない不安が生れる事が有ります。それは、生命力の欠乏から生まれる不安です。明日は、みんなに与えられた生命の力です。そして、明日は、本のページをめくる様に、新しい生命力を目覚めさせ、すべての世界で昨日と異なった自分を発見しなければなりません。情性に流され、新しい生命力である明日を、何も変わらず、死に向けたカウント・ダウンにしては成りません。明日の生命力を呼ぶには、ポジティブマインドが大切です。それは明日、目覚める喜びを生み出すものだからです。楽しく、笑顔で暮らす事は、明日の喜び、明日の生命力につながる所以です。楽しく愉快な未来の時空を遊ぶ事。これがADprojectのコア・コンピタンスです。ピエロイズムです。

■信頼される笑顔

信頼される笑顔は、裏の無い素直な笑顔です。私達には言葉を越えた人間力が有ります。Communicationとは、この人間力をRelationshipに変える魔法の力、笑顔なのです。すべての動物の赤ちゃんは、素晴らしい力「笑顔」と言う「信頼創造力」を持っています。それは「成長」と言う、進化とは程遠いパワーバランスに侵されて行くからです。信頼の笑顔を持つ事は、相手との間に「関係」と言う「愛情」「友情」を生み出し、新しい関係を作ります。「情」の世界を築き一緒に暮らす明日という生命力を生み出すこのRelationshipは、生きる喜びや、次のページを開く「わくわく感」が生まれます。これは、私のレビューの演出の魂で有ります。いつも、多くの観客の皆様笑顔を生み出し、「明日という生命力を創造し暮らしを明るくする。」それは演出家、榎垣の所以であり、プロデューサー榎垣の心意気であり、ADprojectの創業者の魂です。新生AD拳闘を祈る!



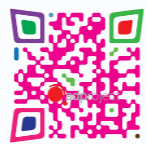
第4P 橋元が踊る

編集: 石川華奈子



山崎 涼香

- Title : 先入観にとらわれない”おもてなし”
- Event : 東京モーターショー 2013



気がつけば、もう2月。月日が過ぎるのは早いものですね。今回は昨年行われた東京モーターショーにて、弊社が担当させていただいた JAF さまのブースより、面白コンテンツをご紹介したいと思います。まず1つ目は、「キャプテン JAF 隊員ゲーム」です。来場者に JAF 公式 Facebook アカウントに「いいね！」を押して、挑戦していただきました。ゲームの内容は、ずばり!JAF 版「黒ひげ危機一髪」です。通常ゲームと違い、実際に「ぼん!」と飛び出すだけでなく、空気が入るシステムになっており、音を出しながらむくむくと膨らんでゆくのがまた可愛らしく来場者には大変好評で、ご家族で楽しんでいる姿をたくさん観ることができました。また海外のプレスの方からも YouTube にするから、撮影させて!などと声をかけていただきました。続いてご紹介させていただきたいのは、いま話題のキネクト(モーションキャプチャー)を使用した新しい情報訴求コンテンツです。ブース前を通った方が画面上に映し出され、吹き出しが登場するという、まるで漫画の世界に自分がいるような感覚になるこのコンテンツは、意外にも大人の方に好評でびよびよん飛び跳ねたり、手を振ったりする姿が見られました。



▲キャプテン JAF 隊員



▲モーションキャプチャー

「デジタルとアナログ」今回の JAF ブース内には、対照的な2つのコンテンツが詰め込まれていたのです。先入観でいえば、デジタルの申し子たる現代の子もたちは最先端のキネクトで盛り上がり、アナログ世代の大人たちは、郷愁を刺激されるキャプテン JAF 隊員ゲームに釘付けになるのでは?と思っていましたが、ふたを開けてみれば結果はその逆。子どもたちはアナログなゲームに、大人たちはデジタルなコンテンツに心躍らせていました。



世代に合った仕掛けを提供していくことは、大切なことだと思います。しかし、時にはその逆に、お客様が心の中に持っているものを提供してみてもおもてなしのなだと感じました。お客様が本当に喜ぶものを提供するためには「先入観」というものに捕らわれないことも必要なことなのだと思います。

←ゆるキャラとキャプテン JAF のコラボレーション

Project 1.



日本人が持つ美しい精神性、高い文化を誇りに、官民が一体となり来日観光客集客力やエンタメへの能力を高め世界へ発信しよう!



EXECUTIVE PRODUCER : 鶴田 勤



人(特に自分は他の人より能力的に優れていると自意識が高い人)は自分の思考力がすごく崇高な事のように思い、空想しがちで利口ぶった事を堂々と言う人が居ますが、何が立派かという事は、場所や内容や物事によって変化して来るのではないのでしょうか。身近な物に例えれば、日本では春夏秋冬の四季を美しいと思っている人がいても、寒い北国の人々はオーロラや星空を又南国の人々は美しく透き通った海を自慢だと思っているのではないのでしょうか。場所や立場によって考え方は異なって来るのです。これと同じで立派な国民とは問えば、イギリス人、フランス人、アメリカ人、日本人等の返事が返って来ます。海外へ旅行に行き良く尋ねられるのがチャイニーズ、コーリアン、ジャパニーズと尋ねられ、ジャパニーズと答ればにっこりとしてくださいます。日本人は優れた文化、正しい礼儀や作法、優れた高い脳力を持ち和を大切に国際性豊かな国民で有ると世界中の多くの方々から思っています。古代より日本は独自の文化を育て途切れる事なく世界でも最古の歴史ある国家を形成しています。それは大和魂という民族の伝統と自立心や歴史の集積が特有の文化を形成しそれに基づき経済、外交、貿易と国の形態や成長を構築して来しました。



今、念願の東京オリンピックの開催が決定し、これを起爆剤とし日本ブランド、ソフトとしての日本の文化を第一線に打ち出し、日本人特有のおもてなしの心、もの造りへの拘わり、美的で繊細で情緒溢れる心配り等、これ等は世界に誇れ自信を持って世界へ発信すべき事です。今、日本に足りなく必要なものは外国からの観光客の集客力、エンターテインメントへの高い意識で、それが国の経済にプラスになるという意識が未だに低いのが実情です。ヨーロッパや欧米諸国では、国として文化イメージを育て、それが産業を押し上げ観光やエンターテインメントが自国の外貨獲得に多に貢献している事を自覚し国の政策にも取り込んでいます。フランス、イタリアをはじめ、アメリカ等の観光収入は日本の観光収入の数倍にもなっているそうです。日本は海外で人気を得ているアニメやゲームソフト、映画等で本来得られる外貨収入を某国で横行している不法コピーによって無くしている状況です。日本のソフト市場規模は海外比で僅か4%ほど、欧米の20~25%に比べ貧相で日本はスピード感と実行力をもって法的な不備や対応の稚拙さを是正国家としての文化を世界へ発信すべきではないかと思ひます。



PRODUCER : 飯塚 かおり

- Event : FROM AQUA 受験生に応援を届けるキャンペーン
- Date : 2013年12月17日(火)/2014年1月18日(土)
- Place : 恵比寿駅/大学10ヶ所(センター試験会場)



学生にとって大きな節目となる受験シーズンが到来!お菓子メーカーを中心に合格を応援するユニークな商品が多数店頭へ並ぶ中…“落ちないキャップ”が特徴の FROM AQUA(ミネラルウォーター)を販売する JR 東日本ウォータービジネス様とベネッセコーポレーション様が昨年引き続き共同で『受験生に応援を届けるキャンペーン』を展開しました。同キャンペーンの中で、元受験生(現社人)からの気持ちのこもった手書きメッセージを募集し、センター試験の日に受験生に直接届けるという企画があり弊社ではオープニングイベントでのメッセージ集めとセンター試験会場前でのサンプリングをお手伝いさせていただきました。オープニングイベントでは、キャンペーン開始の翌日に恵比寿駅東口改札前イベントスペースに学校の教室を出現させ、通行者から応援メッセージを集めました。書いてくれた方へは期間・数量限定で販売されているメッセージを直接書き込むことが出来る「合格祈願ボトル」の FROM AQUA をプレゼントし、特に受験生が身近にいるという方に喜んでいただきました。さらに、オープニングイベントで集めたメッセージカードや販売されている商品についての応募ハガキで送られてきたメッセージカードを受験生に届けるべく、1月18日(土)のセンター試験初日に岩手、宮城、新潟、茨城、千葉、埼玉、東京のセンター試験会場となる大学周辺全10ヶ所商品とメッセージカードのサンプリングを実施しました。キャンペーンで集めた手書きのメッセージカードや“落ちないキャップ”は縁起がいいと受験生にも喜んでいただけました。今年30周年を迎える同商品の新しい挑戦へ今後も尽力をしていきたいと思ひます!!



↑オープニングイベント @恵比寿駅東口

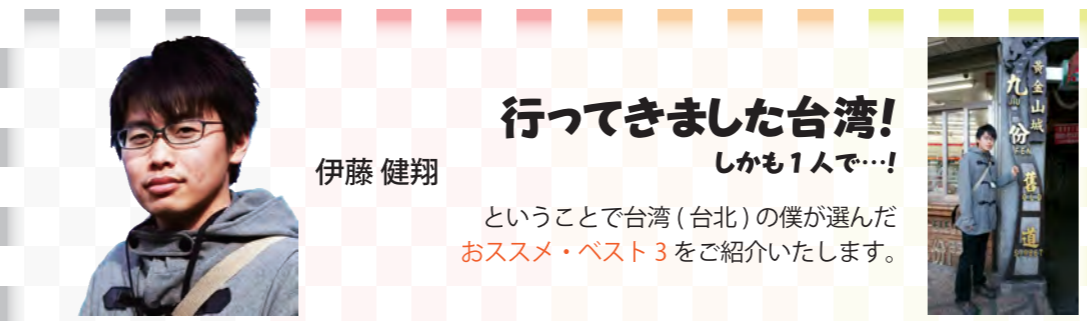


↑センター試験サンプリング @東北大学前



↑合格祈願ボトル

Project 3.



伊藤 健翔

行ってきました台湾!

しかも1人で…!

ということで台湾(台北)の僕が選んだおススメ・ベスト3をご紹介します。



左:清燉牛肉麵(チントゥンニューローメン) 右:番茄牛肉麵(ファンチエンニューローメン)

■「老張牛肉麵店(ラオジャンヨーロウメン)」創業35年もの歴史があり、著名人もお喜びで食べに来るとか、現地で仲良くなった台湾のおじさんに紹介されて食べに行きましたが、本当にウマイ!の一言。麺にコシがあり、左の清燉牛肉麵は、牛油をふんだんに使い、麺とトロトロのお肉との相性は抜群!しかも脂っこくなくて食が進みます。右の番茄牛肉麵は、トマト味スープの牛肉麵で、女性に大変人気です。



■「龍山寺(ローサンスー)」台湾で最も古く、最強のパワースポットと呼ばれている龍山寺。ありとあらゆる神様が祀られており、オールマイティのお寺として多くの観光客が訪れますが、台湾の方たちは、毎日参拝する人や何時間も土下座をする人、叶ったら必ず果物を供えるなどが当たり前で、揺るぎ無い「信仰心」が大変驚きました。



No.1

■「九份(キュウファン)阿妹茶楼(アメオチャ)」ジブリの映画「千と千尋の神隠し」のモデルとなった町「九份」、その登場キャラクター「湯婆婆」の家のモデルとなった茶屋「阿妹茶楼」の写真です。今回の旅行の目的でした。山岳地帯にできていて、移動はもちろん階段を徒歩で登る。普段は雨と霧で覆われることが多く、この日は天候に恵まれました。さて、阿妹茶楼ですが、独特のお茶の入れ方と香りと絶景を楽しむようになっており、リラクゼーション効果は最高!結局1時間も居ました。

他にも色々な出来事もありました。いきなり兵隊さんに捕まったとか・・・ 今回の台湾旅行で、言語の壁から始まり、文化・価値観・生活を見て聞いて体感して「日本にはありとあらゆる物とルールが揃っている」と実感いたしました。だからこそ非常に新しいもの・考え方・行動を見つけなければならない、そして僕はその最前線に居るのだと改めて確認した旅行でした。



浦山 善明

- Event : ミュージカル「忍たま乱太郎」第5弾～新たなる敵!～
- Date : 1月8日(水)～1月24日(金)
- Place : サンシャイン劇場(池袋)



冬の訪れを感じる11月の末から約1ヶ月間の稽古に入り、新年を迎えた喜びも冷めやらぬ中始まったミュージカル「忍たま乱太郎」。2010年の第1弾初演から再演を重ね、今回で第5弾を数えます。今作品は、全21公演で行われ、そしてこの度、1月15日をもって、累計観客動員数がめでたく10万人を突破した人気シリーズです。

ご存知の方も多いかと思いますが、Eテレ(NHK教育テレビ)で20年間放送されているアニメ「忍たま乱太郎」は、朝日小学生新聞に掲載されている、原作者、尼子騷兵衛先生が描いた漫画「落第忍者乱太郎」が元となる作品です。ミュージカルでは、アニメや原作とは異なり、乱太郎の先輩にあたる6年生や4年生主役として構成されており、殺陣、アクション、歌、ダンスが満載のオリジナルストーリーが繰り広げられます。

来場者は9割以上を女性が占め、そのほとんどが本公演を2回以上観てくださいます。全21公演全てご覧になれるお客様もいらっしゃいます(!)。さらに、主な客層が10代から40代までと、幅広い年齢層に来て頂いており、その勢いはとどまることを知りません。

また、毎回好評を得ているニコニコ動画への舞台配信に加え、今回は新たにライブビューイング(※)での千秋楽配信まで行われ、ミュージカル「忍たま乱太郎」はさらなる広がりを見せております。

このミュージカル「忍たま乱太郎」に私達は制作という立場で携わらせて頂いております。私は今回初めて携わり、ロビー周りのディレクションを担当させて頂きましたが、使わせて頂く劇場との密な情報交換や配慮が重要だという事を強く感じました。お互いが気持ち良く業務にあたる関係性を作る事は、観劇されるお客様への快適な空間の提供にも繋がると思ひます。今年の6月中旬には東京ドームGロッソでの再演が決定しております。今回、サンシャイン劇場で感じた事を意識して、更にスマートな運営を目指したいと思ひます。

※衛星・光回線ネットワークを利用し映画館でコンサート、舞台等を上映するコンテンツ



第5弾再演決定!!6月の中旬から

©ミュージカル「忍たま乱太郎」製作委員会

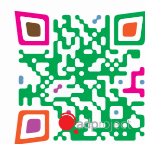
Project 4.



←パチのつもり

EXECUTIVE PRODUCER : 岩下 信而

■ Title : 石井竜也を人間国宝に!



ぼくより少し年長のマイケルジャクソン、TK、織田哲郎を含め、同世代で成功したミュージシャンの中でも群を抜いたエンターテイナー石井竜也さん(自称源氏名:カールスモーキー石井)と続けて仕事をする事ができました。クライアントは、いずれも弊社の長きにわたる大切なお取引先様。ありがとうございました!

80年代末、ぼくは写植文字を買いに(当時入稿データは、写真化された文字を購入し、台紙に貼りつけていたのさ)六本木交差点まで日参する日々。同い年のテッペイちゃん(石井さんのニックネーム)率いる「米米 CLUB」は、キャッチーなサウンドとトークにゴージャスなファッション、そして上質なバンドとダンサーで、時代を席巻していました。それから早や20余年。映画ビジネスの負債や、3.11による実家全壊などの苦境を乗り越え、我がテッペイちゃんは、「米米」の再活動と並行し、画家、アーティスト、そしてもちろんポップスシンガーとして精力的に羽ばたいています。彼のショーは、秀逸な楽曲とトーク、自作の美術装飾などによる演出だけでなく、終盤のアプローチにおける、恒例の(われわれ裏方への)「スタッフに拍手」(そして演者から)「お客様に(主催者)に拍手」などの存分なホスピタリティが魅力。まさに総合エンターテインメント、至芸である。スポーツや世襲に全く興味のないぼくとしては、石井竜也さんに人間国宝になっていただきたいものです。



♪えーびばでい SAMURAI SUSHI GEISHA !
びゆていほー FUJIYAMA HAI HAI HA ! ♪から25年。
最後に新曲「時間旅行」より引用します。
♪空を読んで その日を生きるより 夢をつかむための日にしよう
時間旅行 みんながしているんだ その日一日が大切なんだ♪

ぼくもパソコンを閉じ、あの頃の六本木交差点に戻り、抱いていた夢を見つめなおします。でもその前に、せつかく六本木に行くんだから、同伴しよう!!では次回 Ciao

←2014年の石井竜也さん。
12年目を迎えた「平和祈念」活動として
スペシャルコンサート
「GROUND ANGEL ~ HOPE HILLS ~」※を開催します!!

※日時:2014年3月11日(火)
場所:渋谷 Bunkamura オーチャードホール

そして、みんな大好き!
2014年の米米 CLUB で一す!!→

